

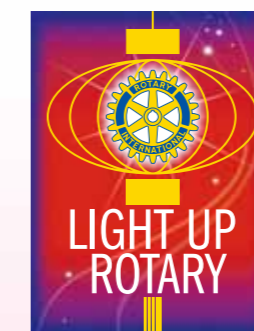
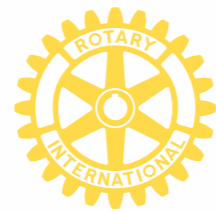
2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

4



Rotary
District 2510





西行法師(1118年生-1190年没)は、平安時代末期から鎌倉時代前期にかけて活躍した武士・僧侶・歌人である。俗名は佐藤義清。先祖は藤原鎌足と謂われ裕福な武士の家に生まれ、幼い頃に亡くなった父の後を継ぎ17歳で兵衛尉(皇室の警護兵)となる。

西行は御所の北側を警護する、院直属の名誉ある精鋭部隊「北面の武士」(一般の武士と違って官位があった)に選ばれ、同僚には彼と同じ年の平清盛がいた。(先年NHKの大河ドラマ平清盛に登場した)弓馬や蹴鞠の名手とも言われた。

西行が出家した経緯について諸説がある。大河ドラマでは待賢門院璋子に失恋したのが原因とされている。璋子は魔性の女と謂われ、西行より17歳年上で西行の出家の時は40歳であった。又鳥羽天皇に入内、翌年には立后されて中宮になり、第一皇子の顕仁親王(のちの崇徳天皇)を生んでいる。

西行は、花と月の歌人と呼ばれた。前回の芭蕉は西行にあこがれ吉野を旅して俳句を詠んだ。西行が詠んだ吉野の桜に「吉野山 さくらが枝に 雲散りて 花おそげなる 年にもあるかな」を選んでみた。この歌の心は「吉野山の桜の枝に掛かっていた雲が散ってみれば、さっきまで桜が咲いていたように見えたが、実は咲いていなかった。咲くのが遅い年もあることだなあ」

西行は当時公家社会で忌み嫌われた血や死、火葬場を共に詠んだ歌人である。こんな詩も残っている。「鳥辺山 きのうも今日も 立つ煙 明日の薪は 我が身なるらん」鳥辺山は京都を代表する火葬場であった。(現在では花山と呼ばれ京都市の1200年に及ぶ、歴史のある火葬場である)この詩は「当時都で疫病が蔓延し、連日鳥辺山から火葬の煙の上らない日はなかった。勤めから帰ると又鳥辺山から煙が上がっている。次の日仕事に出ると先日まで一緒に務めていた同僚が疫病で死んでいった。又帰りがけ鳥辺山の煙を見て明日自分があの煙の薪になるかも知れないと世の無常を詠んで出家した」と伝え聞いた。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1
- ローターの友が結ぶもの 2~3
- ローターの友地区代表委員の仕事 4
- 第9グループ IM報告 5
- 第8グループ IM報告 6
- 第3グループ IM報告 7
- 2014学年度 米山記念奨学生歓送会 8
- 青少年交換学生の余市ロータークラブ例会訪問 9
- ガバナーノミニー決定宣言 10
- 第25回 日本ローター親睦ゴルフ 北海道大会のご案内 11
- 特集/姉妹クラブのご紹介 ~パート3~ 12
- クラブ紹介(第9グループ)/クラブのメールアドレス変更について 13~14
- RYLAセミナー2015開催のご案内 15
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り 16
- 米山記念奨学会・ローター財団へのご協力への感謝/ロータリアンの行動規範 17
- 新会員のご紹介/訃報/文庫通信 18
- 出席率・会員数 19
- 地区カレンダー(4月・5月) 20

雑誌月間 (Magazine Month)

国際ローター第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)



RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ローターの雑誌(『ローターの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってローターの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。『2007年手続要覧』の「ロータークラブ定款」の「第14条ローターの雑誌」では、各会員は会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なローター雑誌(日本では『ローターの友』)を購読しなければならない、と定めています。

そこで良く耳にするのが、「ローターの友」は読まれざるベストセラー等という不名誉な言葉を忘れてはいけません。しかし、過去を振り返ると的を射た表現だと、熱心に読んでいなかった自分に反省しきりです。

「ローターの友」には多くのローター情報に溢れています。これさえ読んでいればローターが解るほどであると一層の熱誠をお願い申し上げます。

この月間を迎えるに当たり、今年度地区目標にも掲げて、地区史編纂委員会が発刊に向けて最後の段階に入っているとの報告を受けています。そこで18年ぶりに我が第2510地区の地区史の増補・編纂が企画され、塚原房樹地区史編纂委員長を中心に委員各位が何度も委員会を開催し、資料を収集し、校正を重ね、発刊を待ちわびております。今回も一人でも多くの会員に購読を戴きたいと願う原価での販売とさせて戴きます。一部2,000円でクラブからの要請に応えるように致しました。何卒多くの会員にご覧戴くことを心から念じております。

今回の増版に至る経緯について、18年間の時間の経過は地区史の持つ賞味期限を奪ってしまっていることに気付かされました。タイムリーな情報を満載にお届けできることに、関係皆様のご尽力に対しまして深甚なる感謝を申し上げたいと思います。

先日久留米のホテルで観光案内冊子に夏目漱石に纏わる文章を見つけました。菅虎雄(1864-1943)は漱石が生涯にわたり交友を重ねた無二の親友です。虎雄は漱石の人生における重要な局面にしばしば立ち会っています。3歳年上の虎雄は漱石は兄のように慕い、虎雄は就職の世話・借家探し・金銭的援助・一時的同居など物心両面で漱石を援助しました。漱石は虎雄の親族に好意を寄せ、久留米出身の書生の世話をし、5回も久留米を訪れています。そこで数回にわたり虎雄との交友を軸に漱石と久留米のかかわりについて次の様に紹介されていました。

「明治の文豪夏目漱石は、旧制第5高等学校教授時代に5回ほど久留米に足を運んでいます。明治30年親友菅虎雄を訪ね、高良大社から耳納連山を越え、筑後平野に咲く一面の菜の花を眼下に見下ろし、発心の桜を見物しました。この時の山越えが名作『草枕』に生かされたといわれています。」この高良山一句と題して次の句を詠んだそうです。

「菜の花の 遙かに黄なり 筑後川」
「松をもて 囲ひし谷の 桜かな」

虎雄は漱石よりも長生きします。お葬式の世話もしたそうです。墓石の戒名は虎雄が書いたものだと言いました。書家としても有名です。

7月号のはぶあナイスで漱石が登場しますが旅先で手にした雑誌によって何だか得をしたような気分させて貰いました。雑誌を読むことでローター活動に、また人生に多くの出会いが生まれることを実感しました。

4月は雑誌月間です

ロータリーの友が結ぶもの

ロータリーの友編集長
二神 典子(東京築地RC)



昨年5月の卓話の写真です。取材だけでなく、このようにクラブの例会や地区のセミナーに伺ってロータリーやロータリーの友についてお話しするのも大切な仕事です。

『ロータリーの友』の創刊は1953年1月号ですから、62年の歳月がたちました。ロータリアンの皆さまからは、「『友』を読むと最新情報がわかっていいよ」とおっしゃっていただけますが、最新情報も62年積み重ねると、歴史的な価値を持った情報の宝庫になります。

私は仕事柄、バックナンバーを読む機会に恵まれています。皆さんの興味深い記事に出会い、時間のたつのを忘れてしまうこともあります。特に、クラブの奉仕活動の記事や写真には、当時の時代が反映されていて、懐かしかったり、驚いたりの連続です。

「急な雨に備えて駅に置き傘を寄贈した」という記事に添えられていた写真を見ると、番傘が写っていました。昭和30年代の記事です。

発展途上国の農家にオス・メス2匹の子豚を贈るプロジェクトを実施しているクラブがあります。子豚を繁殖して増やし、生活を向上させようというものです。同じようなプロジェクトを国内の農家に実施しているクラブがありました。昭和33年の記事です。日本も貧しい時代だったのでしょう。

寄贈した自動車もそこに写っている人たちの髪型や服装からも時代の移り変わりを見ることができます。

4月は「雑誌月間」ですから、それに関する特集を組みましたが、その中で『友』のバックナンバーから活動写真を拾って掲載しました。皆さまも、歴史の一端に触れてみてください。

取材でいろいろな所に出掛け、たくさんのロータリアンにお会いしました。そのおかげで、たくさんの感動的な話を伺ったり、ロータリアンの温かさに触れたりすることができました。

ある時、都内のホテルに、ロータリーのバッジを着けている外国の方がいらっしゃいました。思わずお声をかけるとトルコのロータリアンでした。その方は、私がこれから会うことになっているロータリアンの名前を言われ「知っているか」と尋ねられました。私が声をかけたことで、この二人が再会を果たされたのです。



2005年5月の100周年記念パレードは、シカゴの大通りを使って行われ、多くの見学者がいました。メディアのリボンを付け、柵を乗り越え中に入って写真を撮りました。この写真はさらに内側から撮ってくださっているので、パレードの参加者が私を見つけて撮ってくださったものだろうと思います。

2か月後、国際大会でとても感動的なスピーチを聴きました。ロータリアンのおかげで読み書きがで

きるようになった若い女性があつすぐに前を見て話していました。写真を撮りながら、私は涙を止めることができませんでした。目の前にいる聡明な女性が、ロータリーに出合わなければ、決して教育を受けることもなく、貧困の中に埋もれてしまっただろうと想像したからです。



2005年2月23日、ロータリーが100歳の誕生日を迎えた日の写真です。「ロータリーは奉仕活動で100年を祝う」ということで、国際協議会に参加した人たちが全員で奉仕活動をしました。配偶者はホテルでの活動だったと思いますが、ガバナーエレクトはフードバンク(正しい名称は?)の倉庫に行き、貧しい人たちに贈るための食料をダンボールに詰める作業をしました。この日の昼食は、小さなパンと具のほとんどない少しのスープ、それに小さなペットボトルの水1本だけ。食事の差額で寄付をしようということでしたが、日本の租食例とは比べものにならないほどの貧しい食事、その上、結構な重労働でした。

『友』に掲載して、日本のロータリアンの皆さまにも知っていただきたいと思ったのですが、もらった原稿はトルコ語で書かれていました。トルコ語は全くわかりませんから途方に暮れていましたが、あの、ホテルで出会ったトルコのロータリアンの奥さまが日本人で、翻訳をしてくださることになり、皆さまに記事をお届けできました。ロータリーでの出会いはいつも感謝しています。2007年12月号に掲載。

昨年10月、ロータリーデーの取材で、札幌を訪問し、羽部大仁ガバナーの車に便乗させていただき、街頭でポリオ撲滅のための募金活動をされている皆さまの写真を撮らせていただきました。その後、札幌市内のホテルに集まりましたが、その時の皆さまの表情は忘れることができません。一つのことを成し遂げた素晴らしい表情でした。

「わがまち……そしてロータリー」の取材では、ロータリーの友地区代表委員の柳孝一さんに電話して、2～3日で候補地を選定いただきました。突然の取材に赤平ロータリークラブの皆さまにはご迷惑をおかけしましたが、炭鉱が閉山になって厳しい経済状況を克服されてきたロータリアン、ロータリアン企業を取材して、ライター宮本貢さん(元朝日新聞記者)は、「もうこれでやめてもいい」とおっしゃっていました。思い残すことのない、満足できる取材だったのだと思います(やめてもらったら困りますが……)。2014年11月号に掲載。

『友』には多くの人たちの温かい心と、感謝の気持ちがいっぱい掲載されています。記事の余白にそんな心を感じることができるのも、ロータリアンであればこそ。余白を味わっていただきたいと思いながら、編集をしています。



2年に1回開催されるロータリー・ワールド・マガジン・プレス編集者セミナーの写真です。ここで、私たちは研修を受けたり、RIへの申し出を議論したり、各雑誌の情報を共有したりしています。

雑誌月間にちなみ ロータリーの友 地区代表委員の仕事

ロータリーの友地区代表委員
柳 孝一 (札幌南RC)



RIの指定で4月は雑誌月間ですが、今年で終わります。来年から4月は「母子の健康月間」となり雑誌とは無縁になりますが、3月16日に行われたばかりのロータリーの友理事会で、日本独自のスタイルとして来年度から9月が「ロータリーの友月間」に指定されることが決定しました。(ホットな情報です)

ロータリアンの3大義務は「例会の出席、会費の納入、雑誌の購読」といわれるように、雑誌(ロータリーの友)の購読は大事なことです。

クラブの例会で毎月、雑誌委員長がロータリーの友の気になる記事を紹介しているクラブもあるようですが、ほとんどのクラブは会員に配本で済ませているクラブが多いようです。せめてクラブ会長は例会の時間で今月のロータリーの友の気になる記事やRIの情報を伝えて欲しいところです。

ロータリーの友地区代表委員とは、まずガバナーの代理としてロータリーの友委員会に出席します。地区内の情報を収集、友事務局に提供する。また友からの情報を地区内の会員に知らせることが、主な活動ですが、一番大切にしたいへんな仕事は、毎月のレポートです。毎月(だいたい25日)皆さんよりちょっとだけ早く、ロータリーの友が送られてきます。それを読んで翌月10日までにその号の感想等含め、レポートを提出しなければなりません。全国の友代表委員のレポートを集約し、バスターガバナーで組織する委員会で毎月検証されます。そんなこととは露知

らず、東京での委員会で私のレポートを読んだバスターガバナーから声をかけられたことがあり、いい加減なことは書けないと再認識しました。

全国34地区のロータリーの友地区代表委員が集まると、必ず話題になるのが、友代表委員のポジションの件です。地区によっては組織図の載っていないところもありますし、地区大会や地区研修・協議会等の公式行事では、ガバナーに代わり友誌について毎回、お話をする機会があるという地区もあります。共通の思いは、ガバナーの代理である事を地区役員はじめ、会員皆様に知ってもらいたいという事です。地区でたった一人だけの委員会で間違いなく少数派ですが、この原稿を通し、知っていただけることを望んでいます。

ロータリーの友は読むだけではなく、投稿することで本作りに参加することもできます。クラブや地区で活動やロータリアン同士の交流、ロータリーに何する意見等、写真を趣味にされている方は表紙の写真を飾ることもできます。

ご相談いただければ、掲載のお手伝いすることも可能です。お気軽にガバナー事務所まで、お問い合わせ下さい。



IM報告

第9グループのIMを終えて

室蘭東ロータリークラブ
会長 佐々木 彰夫



2015年2月7日(土)室蘭市中島町の蓬峯殿において、室蘭東ロータリークラブがホストを務め、第9グループ、6クラブ会員135名の登録を戴き、IMを開催しました。



当日は、羽部大仁ガバナー、青山剛室蘭市長、佐々木雅之地区幹事のご臨席を賜り盛大な開催となりました。

記念講演では、直木賞作家桜木紫乃さん、室蘭文化連盟会長三村美代子さんの対談「北海道を故郷として、北海道を描く…」と題して講演が行われ、桜木紫乃さんの作品は道内が舞台の作品が多く、北海道の将来像をめぐり、「本州の価値観に左右されないことを大事にしている。



又、発展ばかり求めるのではなく、古いものを大事にする考え方も大切」と訴えた。出席された多くのロータリアンが深い感銘を受けました。

その後の懇親会では、尺八、中村幻山師範、琴、山田正樹師範による、歓迎演奏が行われ、遠藤秀雄バスターガバナーの祝杯により開宴となり、アトラクション、バンド演奏ドーキーズなどで、閉会の時間となりました。



札幌よりお越しいただいた、羽部大仁ガバナー、佐々木雅之地区幹事、又第9グループ皆様に心より感謝申し上げます。

IM報告

第8グループ IM終了報告

第2510地区 第8グループ
ガバナー補佐 富永 信(三石RC)



2015年2月15日(日)三石クラブがホストを務め、三石こんぶ温泉蔵三(くらぞう)において第8グループのインターシティーミーティング(IM)を開催いたしました。(登録会員数は、えりも、様似、浦河、三石、静内の各クラブから81名と、札幌南クラブの齋藤朋博会員がビジターとして参加)

来賓として羽部大仁ガバナー、細川好弘パストガバナー、北川好和地区幹事、酒井芳秀新ひだか町長をお招き致しました。

前日までぐずついた天候でしたが当日は時折薄日がさす穏やかな一日となり、盛会のうちIMを終了することが出来ました。

午前10時ガバナー補佐の点鐘にはじまりホストクラブ会長志田会員の歓迎挨拶、続いて新ひだか町長酒井芳秀様には三石地区の現状も交えての丁寧なご挨拶を戴き、羽部大仁ガバナーには昨年7月より現在までの2510地区の状況と残された4ヶ月余りの活動方針についてユーモアを交えたお話を戴きました。



次年度第8グループガバナー補佐に就任するえりもロータリークラブ佐藤勝会員の紹介、前年度ガバナー補佐浦河ロータリークラブ武田豊会員に記念品を贈呈した後、静内ロータリークラブの細川好弘パスト

ガバナー(2012~2013年度)より「ロータリー余話」と題して基調講演を戴きました。

国際ロータリーと日本ロータリーの誕生秘話、日本人として国際ロータリー会長を務めた東ヶ崎潔、向笠廣次、田中作次、各氏の人となりについての話や、札幌ロータリークラブから最初の地区ガバナー(1936~1937年度)に就任した佐藤昌介氏の妻陽子(はるこ)さんが明治6年四国の洲本より静内に移住した稲田家の令嬢であったことも紹介、ご自身も静内町や浦河町でロケをした「北の零年」の看板を30年ぶりに作製したことなどスライドを用いて講演されました。最後に地道なロータリー活動こそが地域を輝かせる原動力になると結ばれ参加者一同感銘を受けました。



閉会後の懇親会では三石軽音楽同好会の演奏を楽しみながら友情を深めました。

また、懇親会の席上で皆様に2510地区の重点目標の一つであるポリオ撲滅募金をお願いしたところ全員の方より多額の寄付金を頂戴いたしました。集まりました寄付金は、第8グループIM実行委員会として全額寄付させていただきます。

ご参加戴きましたロータリー会員の皆様に心から感謝と御礼を申し上げ報告とさせていただきます。



IM報告

第3グループ IM終了報告

第2510地区 第3グループ
ガバナー補佐 磯野 武司(栗山RC)



にどう取り組んでいるか」についての実践発表の時間帯である。第3グループは8クラブあるので、各発表内容については字数の関係で全て紹介できないが、3クラブ合同の活動内容のみにて報告に替えた。

9月14日(ロータリーデー)、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RCでは、岩見沢市の伝統「ふるさと百餅まつり」において、樽の上から代表して鎌田岩見沢RC会長が力強くポリオ撲滅を多くの市民に訴えた。その他ブースを設け、会員が交代で募金箱を胸に街頭に出向くなど積極的に活動を行った。これらの様子を舞台正面に大きく放映し、会場からは惜しめない拍手が送られた。その後、懇親会場をホテルパラダイスヒルズに移動し、会員同士和やかに「人と人の繋がり」を深め、先の情報交換を含め大いに友情交流を深めることができた。

結びに、地元栗山町長を始め、羽部ガバナー、嵯峨ガバナーエレクト、安孫子直前ガバナーが式典、懇親会共にご出席され、ご指導ご助言いただいたことに対し、心から厚くお礼申し上げます。因に、総勢165名の参加者を得て盛会裏に終了した。



第3グループIM開催日の前日は、これまでの好天続きが嘘のように「明日、道内大荒れ」という大見出しが道新紙面に踊っていた。気懸かりだったことが現実になるのだろうか？ 横浜出張中の基調講演の講師橋氏の飛行機は如何に？ 一番遠隔地の肝心の羽部ガバナーは無事到着か？ これらは全て杞憂に終わり、ホスト・栗山クラブ会員一同、安堵したところである。

2月28日(土)、午後2時点鐘、RI第2510地区第3グループの「インターシティーミーティング」の幕が開いた。一番大切なことは、どんなテーマを設定するかである。私達は「人と人の繋がり(ロータリー)が創る未来」と設定した。これまでのテーマはかなり具体的であったように思うが、今回の場合は、敢てロータリーの基本に帰るという意味合いも含めた。即ち「知り合いを広め、奉仕の機会とする」が、ロータリーの第一義の目的として位置付けているからである。当日のIMも将にその実践の場でありたいと願った。



この度の基調講演者は、栗山町出身・札幌市在住の社会福祉法人栗山ゆりの会・ハローENJOY総合施設長 橋文也氏であった。その演題も「笑・寝・義・趣」という意味深な題名であるが、当漢字の順番に喜怒哀楽の生涯の中で、この四語の大切さを十分過ぎるほどのユーモアを交えてギターを奏でながら語り、聴衆のロータリアンを魅了した。ところで、この四語を初めて見る人は何と読むでしょう。頓智に富んだ某ロータリアンは、「エネレギッシュ」でしょ、と言いつつ「正解」

「笑」の後は、ぐっと引き締めて「ポリオ撲滅運動

2014学年度 米山記念奨学生歓送会

地区米山記念奨学委員会
委員長 渡邊 葉子 (札幌西北RC)



3月1日(日)センチュリーロイヤルホテルにて開催いたしました。奨学生は、1年(又は2年)間の奨学期間を終え、晴々とした姿でこの日を迎えました。

ご来賓塚原房樹理事・羽部大仁ガバナーのご祝詞の後、奨学生に終了証が授与されました。次にカウンセラーの皆様へ羽部大仁ガバナーより感謝状贈呈が行われました。

1年間奨学生を育てていただいた、カウンセラー・世話クラブの皆様へ心より感謝申し上げます。奨学期間内に奨学生がロータリーをどれだけ理解したのかにより、終了後の学友としての活動に差が出てくるように思います。米山記念奨学事業は、カウンセラー・世話クラブの皆様へ推進していただいていると言っても過言ではございません。奨学生が、今後もロータリーとの関わりを絶やすことの無いように願っております。



記念撮影を終え、嵯峨義輝ガバナーエレクトから乾杯のご発声を頂き祝宴となりました。暫し歓談の後、奨学生・カウンセラー・担当教官の皆様からそれ

ぞれにご挨拶を頂きました。奨学生は、奨学金のお陰で存分に勉学に励めたこと、今後の進路、世話クラブでの思い出、楽しい1年だった事など感謝を込めお話ししておりました。奨学生卓話のため連れていただいた初めてのクラブで、色々なクラブ・地域がある事を理解し、とても良い体験をさせていたという話も致しておりました。カウンセラーの皆様も奨学生との交流を楽しまれた様子でした。

奨学生が帰国中のため欠席していても、カウンセラー・クラブ会長・又は代理の方などほとんどの関係者の皆様にお集まりいただきました。又、担当教官からも「学生は研究調査のため海外に渡航しており欠席となります。自身も同行するため欠席ですが、改めてお礼に伺います」と鄭重なメールを頂きました。

奨学生の誰もが、自分自身が受けた奉仕に感謝しており「自分も将来人のために役立つことを行いたい」と強い意志を持っております。又国際交流の大切さも理解しております。何とも頼もしい限りでございます。就職し北海道を離れる奨学生もおりますが、過半数以上が大学で更なる研究を進めると聞いております。クラブでの奉仕活動などにお声をかけて下さい。喜んで参加することと存じます。

最後になりますが、会員皆様にご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。4月からの奨学生にも引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

青少年交換学生の 余市ロータリークラブ例会訪問

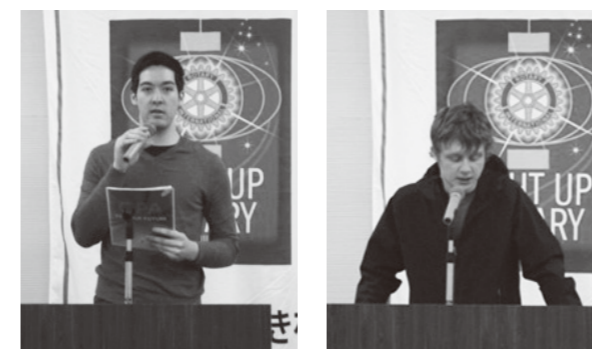
地区青少年交換委員会
委員長 出口 修 (札幌大通公園RC)



東日本大震災から4年を経過した3月11日(水)に、青少年交換受入学生4名が余市ロータリークラブ例会を訪問いたしました。

おりしも悪天候で交通の乱れが心配されましたが、予定通り例会場(北海しんきん本店地下会議室)に到着することができました。

来日間もないデービッド君(オーストラリア・キャンベラ)は日本語での簡単な自己紹介でしたが、ザック君(米国ネブラスカ州)、アレックス君(米国ワシントン州)、エデンさん(米国ニューヨーク州)には、流暢な日本語で素晴らしいスピーチとプレゼンテーションをしてもらいました。



ザック君は、札幌山の手高校で「壁ドン」を演じたことや、現在のホストファミリーの様子をジョークを交えてコミカルなスピーチで会場から笑いを誘うと、一転、アレックス君は、日本と米国の文化や習慣、そして物事の捉え方の違いを具体例をあげながら真剣な分析を披露してくれました。

最後に、エデンさんは、昨年夏から今に至るまでの江別や札幌での様々な経験やホストファミリーとの関わり合いを、たくさんの画像を使って紹介してくれました。



今回、受入学生にこのような貴重な機会を与えていただいた余市クラブの皆様へ心より感謝申し上げます。

余市クラブの例会後、ニッカウキスキー博物館、道の駅スペースアップルを訪問し、札幌への帰路につきました。

青少年交換委員会では、お招きいただきましたら、喜んで受入学生と一緒に例会を訪問させていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



ガバナーノミニー決定宣言

2017-2018年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より国立金助君(函館RC)が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節(13.020.ガバナーの指名手続)に基づき、国立金助君を2017-2018年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言致します。

2015年4月1日
国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)

2017~2018年度 ガバナーノミニー

会員名	くに たて きん すけ 国立 金助(函館RC)	
生年月日	1948(昭和23)年3月11日生(67歳)	
職業分類	不動産売買 (株)大和 取締役会長 (株)ダイワ不動産 取締役会長	
学歴	1971(昭和46)年3月 法政大学法学部法律学科卒業	
職歴	1971(昭和46)年4月 (株)大和 入社 1990(平成2)年5月 (株)大和 代表取締役 2008(平成20)年5月 (株)大和 取締役会長就任(至現在) 1994(平成6)年4月 (株)ダイワ不動産(設立) 役員 2008(平成20)年5月 (株)ダイワ不動産 取締役会長就任(至現在)	
ロータリー歴	1996(平成8)年8月 函館ロータリークラブ入会 1999~2000年度 クラブ幹事 2001~2002年度 副会長・クラブ奉仕委員長 2003~2004年度 クラブ会長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(8回) 米山功労者マルチプル(4回)	
公職	1982(昭和57)年1月 社団法人函館青年会議所 理事長 1986(昭和61)年1月 社団法人日本青年会議所 専務理事 1987(昭和62)年1月 社団法人日本青年会議所 副会頭 2009(平成21)年1月 真宗大谷派函館別院(東本願寺) 責任役員(在任中) 2012(平成24)年4月 北海道教区門徒会(東本願寺) 常任委員(在任中) 2000(平成12)年1月 函館八幡宮 氏子総代(在任中) 2005(平成17)年5月 社会福祉法人貞信福祉会 監事(在任中) 2012(平成24)年4月 函館盲聾教育後援会 副会長(在任中) 2006(平成18)年3月 学校法人野又学園 評議員(在任中) 2012(平成24)年7月 学校法人真宗大谷学園 理事(在任中)	



第25回 日本ロータリー親睦ゴルフ

北海道大会

2015年6月22日(月) 午前7時スタート(OUT・IN同時)

—— 小樽カントリー倶楽部 ——

北海道もすっかり雪が溶け、いよいよゴルフシーズンが始まりましたが
本年も『JGFR北海道大会』の開催を決定し、皆様にご案内申し上げます
ぜひとも多数のご参加をお待ち申し上げます

大会会長	羽部 大仁 (R第2510地区ガバナー/札幌南ロータリークラブ)	大会競技委員長	本間 良二 (札幌南ロータリークラブ)
大会副会長	舩田 雅彦 (札幌南ロータリークラブ会長) 橋本 耕二 (札幌南ロータリークラブ会長)	ホストクラブ	札幌南ロータリークラブ
大会実行委員長	和田 壬三 (札幌南ロータリークラブ・第5グループガバナー補佐)	コ・ホストクラブ	札幌南ロータリークラブ



参加資格	全国のロータリアン及び配偶者ならびにゲスト
競技方法	18ホールズストロークプレイ(新ペリア方式) ※スタート時間及び組合せ等は当競技実行委員会により決定致しますが、ご希望の組合せ等がございましたらお知らせください。後日、組合せその他競技細目等を参加者各位様にご送付致します。
プレイ代	19,000円程度です。 ※高齢者割引あります。
参加登録費	16,000円(本大会ゴルフプレイ代金は含みません。お一人様料金) ご夫婦でご参加をされる方はお二人様で30,000円となります。 ゴルフをされない方の懇親会参加費は5,000円となります。
募集定員	100名(申込み先着にて、定員に達し次第締め切らせて頂きますので、予めご了承ください。)
参加申込	JTB北海道小樽支店大会事務局 〒047-0032 北海道小樽市稲穂3-7-4 朝日生命小樽ビル1F TEL 0134-25-7826 FAX 0134-34-1836

振込口座 北洋銀行 本店 普通口座 6765131
JGFR北海道大会事務局

特集 姉妹クラブのご紹介 ～パート3～

弘前西ロータリークラブとの姉妹提携 函館五稜郭ロータリークラブ

弘前西ロータリークラブ(以下RC)と当RCは2013年10月25日に姉妹クラブとして提携致しました。弘前西RCがガバナー候補者を選出されるにあたり、ガバナー経験者の在籍する当クラブに提携の話を持ちかけて下さったのが、そのきっかけです。交流活動の当初、弘前西RCのご厚意にて創立277年という長い歴史がある弘前西RCの佐藤会長のご実家である(株)カネタ玉田酒造さんを訪問し歓迎を受けました。その翌年4月には桜の名所と有名な弘前公園のお花見観光を兼ねて夜間例会及び懇親会に夫人と共に参加、両クラブの親睦を深める貴重な会となりました。おすすめ下さった夜桜は、美しくライトアップされ弘前天守閣と桜の幻想的な雰囲気は夫人共々魅了され歴史、文化、季節を肌で感じました。次は是非函館へという約束通り9月に開催した当クラブ主催、会員で結成するバンド「ザ・ペンタリアン」のロータリーウィークザ・ペンタリアンチャリティコンサート(ポリオ撲滅チャリティコンサート)に足を運んで頂き、即興で披露して下さいた立役武多踊りでは会場が盛り上がり楽しい会となりました。まだ提携して2年という浅さですが、お互い情報を交わし合い友情と親睦を深め、交流を続けて行きたいと願っております。その他、東京日野RC、東京飛火野RCとの会報の交換を行い、交流もはかっています。



函館北ロータリークラブ・友好クラブの現況 函館北ロータリークラブ

函館北RC友好クラブは、1984年の台北東北RCとの調印をきっかけに始まりました。1992年5月16日には和歌山城南RCと、また同年9月18日の千葉港RCとも調印し、それ以降5年ごとに行われる式年行事の際にお互いの地を歩き来して交流を深めてまいりました。一昨年は、私共函館北RCの創立50周年記念例会に友好クラブの方々がお越しになりお祝いしていただきました。また昨年11月には千葉港RCの創立30周年記念例会に参加するため、函館北RCメンバーとその家族の総勢17名で千葉へ向かい、千葉港RCの皆さんによる温かい歓待を受けました。羽田空港にてお出迎えいただき、用意されていたバスで昼食会場へ。名物のもんじゃ焼きを腹いっぱい堪能しました。午後からは数年ぶりに皇居前広場や東京駅周辺を散策。久しぶりのことでも懐かしく、心踊る思いがしました。その後、「海鮮の国波奈本店」にて盛大なウェルカムパーティが開催され、和やかに楽しいひとときを過ごしました。二次会まで用意してくださっていて、夜の街へと繰り出して楽しんできた元気なメンバーも数名いたようです。翌日のエキスカッションでは、2020年東京五輪競技場建設予定地を巡るクルーズや、東京スカイツリー展望デッキなど、今人気の観光スポットへと案内していただきました。東京スカイツリーで昼食をとった後、記念例会会場である京成ホテルミラマーレへ。懐かしい顔ぶれとの再会を喜び合いました。このように、友好クラブ間の訪問時は、毎回ウェルカムパーティに始まり、エキスカッション、記念式、記念パーティなどが開催され、行き来するたびに互いの絆を深め、楽しい思い出を積み重ねております。再来年は、台北東北RCの30周年、その翌年は、和歌山城南RCが30周年を迎えます。友好クラブの交流を通じ、相互に刺激し合いながら、ともに成長発展する関係を今後も築いていきたいと思います。



クラブ紹介

伊達ロータリークラブ



現在56名の伊達ロータリークラブ。ロータリー全体の会員の減少が激しい中で、これだけの数をキープしている理由に、ベテランと若手の交流が盛んで、活気のある奉仕活動が各委員会を通じて友好的かつ計画的に続けられていることがある。北海道でも有数の温暖な気候、自然に恵まれた北の湘南にふさわしい環境をより一層豊かなものにするため、河川の清掃、野鳥の保護など地域の青少年、住民らと共に奉仕活動に取り組んでいる。交流は伊達市内に限らず、姉妹クラブの巨理RC、友好クラブの茅ヶ崎湘南RCとも盛んであり、毎年交互にお互いの地を訪れ友情を深め、奉仕活動の糧としている。例会では、親睦を図ることに重きを置き、親睦活動委員会が中心となりクリスマス家族会、新年交礼会、さよなら例会と趣向を凝らし、会員の年齢や職種の垣根を越え全員が楽しめるようにし、会員のさらなる交流を深める場となっている。

室蘭ロータリークラブ



当クラブは1936年に創立し、2016年に創立80周年を迎えます。地元における社会奉仕活動では、市内各所での植樹や公園整備をはじめ、「南条育英会」への支援寄付は1957年から、市立図書館に設置された「室蘭ロータリー文庫」の図書購入は1963年から本年まで続けています。創立記念の周年事業にはモニュメントの設置も行ってきました。さらに2005年から旧室蘭駅舎公園を会場にミニSLの運行、ヨーヨー釣りなどの幼少年向きのイベントを開催し、青少年奉仕事業も積極的に行っています。その際、会員持ち寄りの物品をチャリティバザー販売し、その収益を第2510地区国際奉仕事業とポリオ撲滅に充当してきました。80年を迎える間に3クラブのスポンサーとなり、1978年には富田嘉一会員をガバナーとして地区大会を開催しています。当クラブの奉仕活動はRC奉仕の精神を連綿と受け継ぎ、将来に向かって前進を続けています。

室蘭東ロータリークラブ



概要
1961年創立、54年の歴史をもつクラブです。会員数は35名。本年度は地域に密着した奉仕活動、地区補助金を活用した社会奉仕、13年目の「あれこれ何でも相談会」職業奉仕、財団のポリオ撲滅キャンペーン、寄付金活動、新聞等によるポリオ撲滅への理解等の活動を進めています。

クラブの自慢
家族同伴野外例会や夜間例会、国内旅行など家族を含めた参加が多く、特に奥様方相互の交流が盛んで、和やかに楽しい例会が伝統となっています。「あれこれ何でも相談会」や「イタンキ浜清掃」など長年継続してきた奉仕事業は地域で必要とされる奉仕として、根付いています。

室蘭北ロータリークラブ



室蘭北ロータリークラブは、1971年12月に創立し本年度創立43年を迎えます。会員数は昨年度近年にない会員増員が図られ、12年ぶりに40名に回復いたしました。30代、40代の会員数が増え、女性会員も1名増員となり3名となっています。当クラブの特徴は、まず、ローターアクトクラブが組織され、定期的な交流や独自の地域奉仕活動を企画・実施していることです。第2510地区の活動にも積極的に参加しております。また、地域の中心を流れる知利別川という町の中心を流れる川があります。この川の清流化という奉仕活動に長い年月と知恵を振り絞りながら挑戦し続けています。最後に、室蘭北ロータリークラブのロータリアンは老若男女、みないいコミュニケーションをとれる環境にあるということです。例会時、どのテーブルに着席しても先輩後輩がお互いロータリーについて、奉仕について意見を交わし、仕事の話の相談をし、貴重な時間を有効的に活用しています。地区の皆さん、ロータリアンの皆さん、是非室蘭北ロータリークラブにお立ち寄りください。お待ちしております。

登別
ロータリー
クラブ



登別ロータリークラブは、世界有数の観光都市、湯のまち登別温泉「登別市」にあるロータリークラブです。沸々と湧き出る温泉の様に、奉仕の心を沸き立たせロータリーが輝くように活動しております。

本年度の活動目標に「ポリオ撲滅に向けて地区・クラブ・地域社会と連携して行動しよう」を掲げております。そのひとつの手法として、夜間例会時に会員からの例会参加費を例年より多く頂きそれをポリオ撲滅のために役立てようということです。

夜間例会は月1回開催しております。

そしてその中で会員相互の交流と更なる親睦を深めており、大変楽しい夜間例会を実施しております。

また、今年度は交換留学生のアレックス・マコーミー君が登別明日中等教育学校に通いながら、いつも例会には参加しており会員の皆さんとも仲良くコミュニケーションをとっており楽しい例会をすることが出来ております。

洞爺湖
ロータリー
クラブ



洞爺湖ロータリークラブは、伊達ロータリークラブをスポンサークラブとして、1969年に創立、26名のメンバーでスタートしました。

活動の輪を順調に広げ1970年には38名の会員を数えましたが、その後有珠山の2度の噴火や地元企業の相次ぐ廃業等に伴い、地域の人口減少に歯止めがかからず、そのことも大きく影響し現在、クラブの会員数は8名と低迷を続けています。また会員の高齢化もあり、会員の増強に特に力を注いでおります。

毎年秋に行われる「北海道ツーデーマーチ」には第9グループの各クラブの応援を頂き、参加者に地元産のじゃが芋、人参を焼き、またオニオンスープを提供する活動を続けております。

昨年はポリオ撲滅キャンペーンの募金も行いました。次年度では新たな活動を企画展開し、共に活動を進めてもらえる仲間をより多く見つけていきたいと考えております。

クラブのメールアドレス変更について

蘭越RC：クラブのメールアドレスが下記に変更になりましたので宜しくお願い申し上げます。

rankoshi-rc@xvb.biglobe.ne.jp

RYLAセミナー2015
開催のご案内



地区RYLA委員会
委員長 増山 柳 (江別西RC)

開催日
2015年5月16日(土)～17日(日)〈1泊2日〉

場所
今年は慧林寺! 〈札幌市豊平区〉
(羽部大仁ガバナーのお寺)

内容
講演会、ディスカッションなど
リーダーシップを養うプログラム



2014年RYLAの様相

ライラ Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム)の目的は、青少年を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することとされています。

2014～2015年度地区RYLAセミナーは、チェンライロータリークラブ会長 原田 義之先生をお迎えして開催することと致しました。

原田 義之先生からのメッセージは

私は世界でも貧困地域とされる、タイ北部国境地帯に住む少数民族アカ族の子供たちの就学支援をしています。子供たちは貧困なるが故に就学機会がままなりません。子供たちは識字率が低いまま12、13歳で町で就労し、やがては麻薬の運び屋、売春、エイズキャリアーの「悪の道」に人生を踏み外す現実があります。

今、目の前にいるこの子供たちをその予備軍にならぬよう、微力ながら我が身を現地に移し、ボランティア高校教師をする傍ら、現地での奉仕をしています。

現在特に力を入れて取り組んでいる事業は、子供寮に畑と家畜の飼育施設を作ること。農耕具を整えてあげることです。それは、このアカ族子供寮「夢の家」が、子供たち自らの手で一日も早い自立を願うからです。資金的増減に左右されず、子供たちの就学を続けさせたいからです。

各クラブの皆様RYLAセミナーの参加者のご推薦をお願い致しますと共に、ロータリアンの皆様にもご講演をお聞き頂きたいお願い申し上げます。参加申し込みにつきましては、4月15日〆切と致します。

お問い合わせ先
国際ロータリー第2510地区RYLA委員会
お申し込み先
E-mail: rid2510ryla2015@gmail.com
FAX: 011-386-2148



2014年RYLAの様相

私の雑想ノート No.10

アメリカの職業奉仕観の底流にある思考

バスターガバナー
塚原 房樹
(札幌東RC)



キリスト教の根底にあるものは「禁断の木の実」を食べたアダムとイブの原罪説です。ピューリタニズムでは墮落した人間はどんなに修養を重ねても許されません。特にロータリーの背後にある厳しいカルヴァンの訓えは、彼らにとってこの世は涙の谷であり、やがて終わるべき旅路に過ぎません。しかも彼らは神の栄光を増すためにこの世を少しでも神の国に近づけようと努力し、それが神に許される証となるのです。こうしてこの短い人生の旅路はやがて終わるのだから我々は昼のうちに仕事をおかねばならないという緊迫した気持ちを生みます。この世の楽しみを捨てて、すべてを隣人愛の実践にささげねばならないという巨大なエネルギーがほとばしり出ることになりました。そして経済活動を、神の栄光をたえ、隣人愛を実践する手段と考えました。

日本の社会は東洋哲学(神道・仏教・儒教)が人々の生活を律してきました。特に儒教ではこの世と人間との関係は徹底した楽観主義に立っています。つまり儒教の考え方によると、この世は様々な世界のあり方の中で最上のもの、そしてキリスト教と全く逆に、人間の本性は善であり、修養すれば仏にもなれます。儒教の目指す人間の理想像は君子という表現で示されます。君子は徳が高いといわれていますが、それは道に従うことであり、この道とは一定の理法に従う世界秩序のことです。つまり人倫の道に従うことがこの世で目指す理想となります。儒教ではそうした外面的な作法、世間体を出るだけ守り、そのために自分を抑制します。

このように信ずる宗教の違いにより奉仕観に決定的な差が生じます。儒教での罪は秩序と調和を破ることであり、それは償いする過ちであって、キリスト教の原罪といったものとはあまりにも遠くかけ離れています。またアメリカと奉仕観が大きく違うもうひとつの理由は日本にはパブリックという横の概念がなかったことです。社会は身分的な縦の人間関係で成立していました。

日本の縦の人間関係では人間の相互関係が働くボランティアの生まれる余地はなかったのです。日本人の控えめな態度を美德とする生き方にとって、ボランティアはそれを超える精神的エネルギーを必要とするものでした。外来思想のロータリーが我々にもたらした一番大きな功績は、ボランティアという単に「困った人を助けてあげる」ことだと思っていたが、むしろ「助けられているのは自分」の方だという新しい価値観を積極的に我々に与えてくれたことです。

職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「ロータリー哲学」

アーサー・F・シェルドン著 小堀憲助訳(千種会)

この小冊子は、1921年6月14日、国際ロータリー・クラブ連合会第10回国際大会がスコットランドのエジンバラで開催されたが、そこでアーサー・F・シェルドンによりなされた講演(45分間ほど)の元になる論文を千種会の小堀憲助氏が訳し、詳しく解説したものです。「この世のすべては自然の法則によって定められている。お金を儲けようと思って仕事をすることが、事業を失敗する大きな原因なのです。自分の仕事を通じて社会に奉仕をするために仕事をすることです」シェルドンは、初めてロータリーに「奉仕の概念」をとり入れた人であるが、もし彼のロータリーへの参加がなく、「奉仕哲学」の提唱がなかったら、ロータリー運動は今日、これ程までに世界に拡大することはなかったであろう。

職業奉仕のミニ情報

「決議23-34」とは、ロータリーにおけるすべての大切な根幹が書かれているとても貴重な決議である。因に、1959～60年度のRI会長ハロルド・トーマスは、既に8月号で紹介した名著「ロータリー・モザイク」でこう述べている。

「ロータリーは成人に達した。決議23-34はロータリーの哲学、方針およびプログラムの性格を決定した。決議23-34が書きおろされて以来、既に50年にわたって、全世界における実際上の経験に基づく討議、討論が行われた。しかしながら原理という観点からロータリーの説明として、この決議の第一パラグラフをよりよく書き改めることは、恐らくわれわれの中誰一人としてこれをよくする者はない」

米山便り

札幌 ロータリークラブ から得たこと

ムン ソン ジェ
米山奨学生 文 盛載
(札幌RC)



米山奨学生として「札幌ロータリークラブ」の例会に参加してから、そろそろ一年になるとうとしています。この一年は、大学という限られた世界ではなかなかお会いできない様々な職種の方々に出会い、いろんな話を聞くことができた貴重な時間でした。

そして毎月の卓話では多様な分野の専門家のリアルな話を聞き、「札幌ロータリークラブ」活動の話も聞くこともでき、大変勉強になりました。しかし、今は「大変勉強になり」「貴重な時間」といった自分の受動的な態度に疑問を抱くようになっていきます。恐らく一年間の「ロータリー」クラブ活動内容を知り、クラブの方と話をしながら、自分も人のためにできることをしたいと考えるようになったからだと思います。

今私ができることは研究に没頭し、私のよい研究成果が「ロータリー」して人のために使われることと自覚しています。

以上、「札幌ロータリークラブ」から得たことでした。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC 西村 芳徳 会員(3回) 2月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 北市 宗三 会員(3回) 2月	札幌北RC 大西 勲 会員(3回) 2月
岩見沢RC 倉増 昭一 会員(1回) 2月	新札幌RC 瀬川 俊男 会員(1回) 2月
岩見沢RC 大屋 均 会員(5回) 2月	森RC 福地 隆祐 会員(1回) 2月
岩見沢RC 田苅子 敬夫 会員(3回) 2月	森RC 松浦 勝 会員(1回) 2月

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 藤田 亨敦 会員 2月	新札幌RC 大石 清司 会員 2月
岩見沢RC 臼杵 努 会員 2月	

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

2014年10月のRI理事会決定で行動規範に再度変更が加えられました。

2015年4月のロータリーレート 1ドル 118円

新会員のご紹介 敬称略



えりもRC
津国 誠一
入会日: 2月1日
職業分類: 福祉会



えりもRC
辻 一範
入会日: 2月1日
職業分類: 商工会



滝川RC
片桐 幸一
入会日: 2月5日
職業分類: 車輦販売整備業



室蘭北RC
小野寺 浩二
入会日: 2月10日
職業分類: ソフトウェア業



えりもRC
傳法 貴司
入会日: 3月1日
職業分類: 水産加工



えりもRC
山形 弘
入会日: 3月1日
職業分類: 水産加工

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



南原 康二 会員(札幌東RC)
2015年1月9日ご逝去(享年80歳)

【ロータリー歴】

1979年9月13日 入会
1986~1987年度 ロータリー財団委員長
1999~2000年度 副会長・職業奉仕委員長
2002~2003年度 会長
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

文庫通信



(330号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

[下記申込先:ロータリー文庫]

- ◎ 「人生は8合目からがおいしい」 田部井 淳子 2014 5p (D.2600地区大会報告書)
- ◎ 「これからのロータリー」 千 玄室 2014 4p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎ 「ロボットの奉仕」 松野 文俊 2014 11p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎ 「日本の進路と誇りある国づくり」 櫻井 よしこ 2014 2p (D.2660地区大会記録誌)
- ◎ 「これからの日本に対する期待」 竹中 平蔵 2014 6p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎ 「ロータリーの存在意義」 深川 純一 2014 9p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎ 「光圀伝について」 冲方 丁 2014 9p (D.2820地区大会記録誌)
- ◎ 「人生の金メダル」 齋藤 仁 2013 7p (D.2830地区大会記録誌)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝日

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.2.28	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	78.90
	羽幌	4	47	47	0	2	72.34
	妹背牛	3	10	12	2	0	75.00
	留萌	3	40	41	1	3	75.64
	小計		130	135	5	7	75.47
2	赤平	4	29	29	0	0	75.00
	芦別	4	37	36	-1	2	78.78
	砂川	3	38	37	-1	0	94.59
	滝川	4	81	85	4	3	72.00
	小計		185	187	2	5	80.09
3	美唄	4	30	33	3	0	86.56
	江別	4	32	32	0	1	87.50
	江別西	2	25	26	1	3	96.20
	岩見沢	4	74	75	1	0	96.23
	岩見沢東	3	23	23	0	3	84.34
	栗沢	3	24	23	-1	1	95.50
	栗山	4	24	25	1	4	96.80
	当別	4	25	27	2	0	87.06
	小計		257	264	7	12	91.27
	4	札幌	3	112	126	14	0
札幌はまなす		4	12	16	4	2	87.50
札幌北		4	33	35	2	3	92.65
札幌モーニング		3	40	41	1	0	72.97
札幌西		4	50	52	2	8	81.81
札幌西北		4	31	31	0	3	82.50
札幌手稲		4	37	37	0	3	90.72
小計		315	338	23	19	86.60	
5	札幌東	3	114	123	9	0	99.14
	札幌清田	4	17	17	0	4	100.00
	札幌幌南	3	57	61	4	5	100.00
	札幌真駒内	3	22	24	2	4	100.00
	札幌南	4	78	81	3	0	97.52
	札幌大通公園	4	12	13	1	1	63.45
	新札幌	3	22	23	1	2	89.65
小計		322	342	20	16	92.82	
6	岩内	4	18	19	1	1	82.51
	倶知安	3	40	40	0	5	62.00
	小樽	4	73	75	2	0	82.95
	小樽南	4	71	76	5	2	94.44
	小樽銭函	4	19	19	0	1	80.00
	蘭越	4	11	11	0	0	86.35
	余市	3	45	47	2	4	86.90
小計		277	287	10	13	82.16	

2月出席率・会員増減数

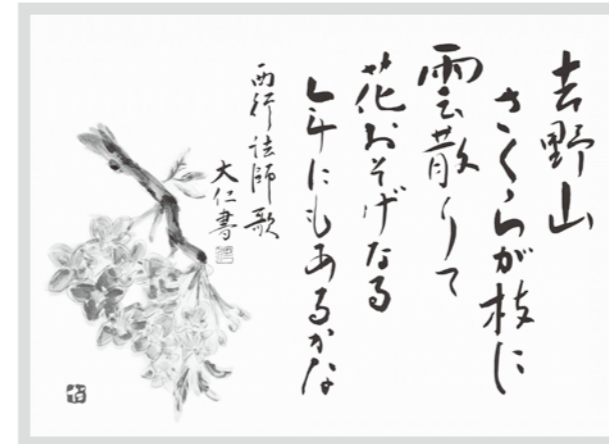
- クラブ数 70クラブ
- 期首会員数 2,497人
- 当期末会員数(女性) 2,591人(118人)
- 増加会員数 94人
- 当月平均出席率 82.96%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.2.28	増減	内女性	
7	千歳	4	52	58	6	5	89.00
	千歳セントラル	4	31	35	4	3	75.00
	恵庭	3	46	47	1	2	84.16
	北広島	4	17	17	0	1	89.00
	長沼	4	19	19	0	3	73.61
8	由仁	4	5	8	3	0	62.50
	小計		170	184	14	14	78.88
	えりも	4	20	21	1	1	92.86
	三石	4	15	15	0	2	73.30
	様似	4	24	23	-1	1	73.91
9	静内	3	60	64	4	0	85.66
	浦河	4	22	22	0	0	84.09
	小計		141	145	4	4	81.96
	伊達	4	57	56	-1	0	83.85
	室蘭	4	37	34	-3	0	60.30
10	室蘭東	4	35	35	0	0	92.90
	室蘭北	4	40	39	-1	3	76.28
	登別	3	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	7	-1	0	89.60
	小計		208	202	-6	4	81.13
11	函館	4	81	85	4	1	83.05
	函館亀田	4	41	43	2	5	91.49
	森	3	39	39	0	0	68.00
	七飯	4	18	17	-1	0	67.60
	長万部	4	9	9	0	0	77.70
12	函館セントラル	4	27	24	-3	2	72.92
	小計		215	217	2	8	76.79
	江差	4	10	12	2	1	62.10
	函館五稜郭	4	46	50	4	0	87.67
	函館東	4	46	48	2	5	71.05
合計	函館北	3	21	22	1	0	93.94
	北斗	4	14	13	-1	0	64.60
	松前	2	4	4	0	0	75.00
	小計		141	149	8	6	75.73
	白老	3	31	32	1	2	85.70
合計	苫小牧	4	48	52	4	2	83.00
	苫小牧東	4	27	28	1	5	83.84
	苫小牧北	4	30	29	-1	1	86.38
	小計		136	141	5	10	84.73
	合計		2,497	2,591	94	118	82.96

地区カレンダー(4月・5月)

4月 ローターリー雑誌月間	
1(水)	
2(木)	
3(金)	
4(土)	第2グループIM(赤平)
5(日)	
6(月)	
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	2015-16地区研修・協議会打合せ会議(岩見沢)
12(日)	2015-16地区研修・協議会(岩見沢)
13(月)	
14(火)	
15(水)	
16(木)	
17(金)	
18(土)	
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	
24(金)	～25(土) 韓国第3700地区大会(大邱)
25(土)	第4・第5グループ合同IM(札幌)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	昭和の日
30(木)	

5月	
1(金)	
2(土)	
3(日)	憲法記念日
4(月)	みどりの日
5(火)	こどもの日
6(水)	振替休日
7(木)	
8(金)	
9(土)	長沼国際交流フェスティバル(長沼)
10(日)	
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	第12グループIM予定(白老) ～17(日) 地区RYLAセミナー(札幌)
17(日)	第1グループIM予定(深川)
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	恵庭RC45周年記念式典(恵庭)
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	
31(日)	



表紙の解説

今回は桜と西行法師の歌を載せて貰いました。西行法師については、はぶあナイスで紹介させて頂きましたが、重複する点をお許し戴きましてお話しさせて戴きます。

佐藤義清は、北面の武士として朝廷に仕えていました。文武両道に秀でてその上男前であったそうです。

出家の要因について、待賢門院璋子に失恋したのが原因だと思いましたが、一説に世の無常を感じて出家したのではと私は信じたいと思っています。それがはぶあナイスで出て来た歌です。「鳥辺山 きのうもきょうも 立つ煙 明日の薪は我が身なるらん」この歌が出家の要因であると後者の説を支持したいと考えます。出家して西行と名乗りますが、当時としては長命で73歳の生涯を終えます。

亡くなる10年前に遺言のようなつぎの歌を詠んでいます。

「願わくは 花のもとにて 春死なむ その如月の 望月のころ」西行の命日は1190年2月16日です。如月はきさらぎと読んで、陰暦の2月の事です。2月15日はお釈迦様のご命日(涅槃会)です。その頃に亡くなりたい。しかも花の咲く望月(陰暦15日の満月)の頃に死にたいものだと言んだものです。花と月を詠んだ歌人と謂えると思います。西行はお釈迦様の後を慕って一日後について西方の世界へ行ったのでしょうか。その500年後芭蕉を始め多くの歌人が西行法師の跡を慕って旅をしていると感じます。

芭蕉の句に「さまざまの こと思い出す さくらかな」吉野を旅した芭蕉の息づかいを感じるような句ではないでしょうか。会長・幹事さん来月は棚卸しで会いましょう。

羽部